Printer LOOMERSO

Translation

## PATENT COOPERATION TREA PCT



### INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Article 36 and Rule 70)

Applicant's an annual El C	·		·		
Applicant's or agent's file reference NUB-01-PCT	FOR FURTHER AC	TION See Noti Preliminar	fication of Transmittal of International y Examination Report (Form PCT/IPEA/416)		
International application No.	International filing date		Priority date (day/month/year)		
PCT/JP2003/012917	08 October 2003	•	19 November 2002 (19.11.2002)		
International Patent Classification (IPC) or no A61M 25/10	itional classification and	IPC			
Applicant	NIHON UNIV	ERSITY			
<ol> <li>This international preliminary exami and is transmitted to the applicant ac</li> </ol>	nation report has been procording to Article 36.	pared by this Inter	national Preliminary Examining Authority		
2. This REPORT consists of a total of	3 sheets, ir	cluding this cover	sheet.		
This report is also accompanie amended and are the basis for 70.16 and Section 607 of the A	uns report and/or sneers	XINIAINING PRODICE	ion, claims and/or drawings which have been ations made before this Authority (see Rule		
These annexes consist of a total	al of <u>6</u> she	ets.			
3. This report contains indications relati	ng to the following items				
I Basis of the report					
II Priority					
III Non-establishment of	opinion with regard to n	ovelty, inventive st	ep and industrial applicability		
IV Lack of unity of inver	ition				
V Reasoned statement u citations and explanat	nder Article 35(2) with re ions supporting such stat	gard to novelty, in ement	ventive step or industrial applicability;		
VI Certain documents cit	ed				
VII Certain defects in the	international application				
VIII Certain observations of	on the international applic	ation			
Date of submission of the demand	D	ite of completion o	f this report		
08 October 2003 (08.10.2			July 2004 (12.07.2004)		
Name and mailing address of the IPEA/JP	At	Authorized officer			
Pacsimile No.	Te	ephone No.			

## INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

In	onal application No.
	PCT/JP2003/01291

I. Basis of the report	1 01/31/2003/01/291/
1. With regard to the elements of the international application:*	
the international application as originally filed	
the description:	
pages 5-9	an animin at 100 to
pages	, as originally filed , filed with the demand
pages 1-4 , filed with the lett	ter of
the claims:	20 1/1201 (20.03.2004)
pages	
pages	, as originally filed
pages, as amended (	
pages 1, 2, 4 , filed with the lett	, filed with the demand
the drawings:	er of26 March 2004 (26.03.2004)
nage	, as originally filed
F-044	, filed with the demand
, filed with the letter	er of
the sequence listing part of the description:	
pagespages	on anisimally (0)
pagespages	, as originally filed
pages, filed with the letter	er of
2. With regard to the language, all the elements marked above were available or furnished the international application was filed, unless otherwise indicated under this item. These elements were available or furnished to this Authority in the following language the language of a translation furnished for the purposes of international search (under Rule 48.3(b)). The language of publication of the international application (under Rule 48.3(b)). The language of the translation furnished for the purposes of international preliminary examination was carried out on the basis of the sequence disclosed in the international application in written form.    Giled together with the international application in computer readable form.	which is: nder Rule 23.1(b)).  minary examination (under Rule 55.2 and/ nternational application, the international
the drawings, sheets/fig	
This report has been established as if (some of) the amendments had not been made beyond the disclosure as filed, as indicated in the Supplemental Box (Rule 70.2(c)).  Replacement sheets which have been furnished to the receiving Office.	
Replacement sheets which have been furnished to the receiving Office in response to an in this report as "originally filed" and are not annexed to this report since they a and 70.17).  Any replacement sheet containing such awardments what he referred to the second to	to not contain amenaments (Rule 70.16
Any replacement sheet containing such amendments must be referred to under item 1 and	annexed to this report.
PCT/IPF A // 00 (Pox D / Ind., 1000)	

#### INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

	Inte	nal application No.
1		PCT/JP03/12917

tatement			
Novelty (N)	Claims	1, 2, 4	YES
	Claims		NO NO
Inventive step (IS)	Claims	1, 2, 4	YES
	Claims		· NO
Industrial applicability (IA)	Claims	1, 2, 4	YES
	Claims		МО

2. Citations and explanations

Claims 1, 2 and 4

Document 1: JP, 4-261668, A (TERUMO K.K.)

Document 2: WO, 01-66028, A1 (PLC MEDICAL SYSTEMS, INC.)

Document 3: JP, 2001-000448, A (HITACHI, LTD.)

Documents 1-3 are documents indicating the general state of the art in the relevant technical field, and none of these documents describes or suggests stroke means that causes a guide wire to stroke in concert with a heartbeat based on a detection signal from a pulse detection means.

#### 特 許 協 力 条 糸



PCT

# 2 9 JUL 2004 WIPO PCT

#### 国際予備審査報告

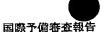
(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の審類記号 NUB-01-PCT	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送行通知(様式PCI)					
国際出願番号 · PCT/JP03/12917	国際出願日 (日.月.年) 08.10.2003 優先日 (日.月.年) 19.11.2002					
国際特許分類 (IPC) Int.	C1' A61M25/10					
出願人(氏名又は名称)	· 学校法人 日本大学					
1. 国際予備審査機関が作成したこの	国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。					
2. この国際予備審査報告は、この表稿	<b>紙を含めて全部で3</b> ページからなる。					
× この国際予備審査報告には、『 査機関に対してした訂正を含さ (PCT規則70.16及びPCT この附属掛類は、全部で						
3. この国際予備審査報告は、次の内容	容を含む。					
I × 国際予備審査報告の基礎	· · ·					
Ⅱ □ 優先権	•					
Ⅲ Ⅲ 新規性、進歩性又は産業	を上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成					
IV 開の単一性の欠如	·					
V × PCT35条(2)に規定 の文献及び説明 VI ある種の引用文献	する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるため					
VII 国際出願の不備						
, VII 国際出願に対する意見						
国際予備審査の	国際予備審査報告を作成した日 12.07.2004					
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP 郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4	松永、城一					



国際出願番号	PC		P	0	3.	/	1	2	9	1	7
当別 山原田 ク	1	1/ /	-	•	٠,	•	-	_	-	_	•

Ι.		際予備審査報	D基礎
1 .	応	の国際予備審 答するために CT規則70.1	限告は下記の出願審類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に 出された差し替え用紙は、この報告審において「出願時」とし、本報告番には添付しない。 70.17)
		出願時の国際	頭魯類
	×	明細審 明細審 明細審	5-9       ページ、出願時に提出されたもの         ページ、国際予備審査の簡求啓と共に提出されたもの         1-4       ページ、26.03.2004       付の書簡と共に提出されたもの
	×		項、出願時に提出されたもの         項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの         項、国際予備審査の請求告と共に提出されたもの         1,2,4       項、26.03.2004       付の書簡と共に提出されたもの
	×	図面 図面 図面	1-8 ページ <del>/図</del> 、出願時に提出されたものページ/図、国際予備審査の請求費と共に提出されたものページ/図、
			の部分 第       ページ、出願時に提出されたもの         の部分 第       ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの         の部分 第       ページ、
2	2	上記の出願書	言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。
		上記の啓類は	記の言語である 語である。
		∏ РСТ#	ために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語 48.3(b)にいう国際公開の言語 査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語
;	3.	この国際出願	ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。
		この国際   出願後   出願後   出願後	願に含まれる街面による配列表 願と共に提出された磁気ディスクによる配列表 この国際予備審査(または調査)機関に提出された啓面による配列表 この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表 出した啓面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述 あった 配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出
	4.	THE STORES	記の <b>告類が削除された。</b> 第 ページ
		」 分減で ( ) 請求の範囲   図面	第 <u>3,5</u> 項 図面の第 <u>ページ</u> /図
	5. [	<sup>ー</sup> れるので、	審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認めら の補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上 る判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)



国際予備審查報		国際出願番号 РСТ ЈРОЗ	
V. 新規性、進歩性又は産業上の利用 文献及び説明	可能性についての法第12	条 (PCT35条(2)) に定める見 	解、それを裏付ける
1. 見解			
新規性(N)	韶求の範囲 <u>1,2,4</u> 韶求の範囲		有
進歩性(IS)	請求の範囲 <u>1,2,4</u> 請求の範囲		
産業上の利用可能性(IA)	簡求の範囲 <u>1,2,4</u> 簡求の範囲		
2. 文献及び説明(PCT規則70.7)	)		
文献3:JP 2001	-000448  A	(株式会社日立製作所)	
文献1-3は、当該技術 の文献には、脈動検出手段 てストロークさせるストロ		的技術水準を示す文献でな きガイドワイヤを心臓の服 示唆もされていない。	あって、これら 派動に動機させ
·			
			•
·			
			•

#### 明細書

#### 注入療法用装置

#### 5 技術分野

本発明は、血管内に挿入されて、心筋などの治療のために、経管的薬剤及び細胞の投与や治療器具の供給が可能なバルーンカテーテルを備えた注入療法用装置に関する。

#### 10 背景技術

15

20

25

従来、様々な病気に対して、低浸襲的治療方法を追求するために種々のバルーンカテーテルが開発されてきたが、これらの経管的治療器としてのバルーンカテーテルは本管血流を一時的又は半永久的に閉塞して、発生した異常な状態を検査又は改善することを目的としている。例えば、経皮経管冠状動脈形成術などで使用される従来のバルーンカテーテルとしては、例えば、特開平5-285222号公報に記載のようなものがあるが、拡張されるバルーンは、主として血管の狭窄部を拡張する目的に使用される。

また、心筋梗塞を発症又は発症のおそれのある心筋に対し、薬剤や細胞又は治療器具(注射針など)などを注入する際には、外科的に開胸して直接的に薬剤等を投与するか、又は、下大静脈を通じて経皮的に心腔内にカテーテルをアプローチし、心筋近傍までカテーテル先端部を接近させてカテーテル越しに心筋に注射針を打ち込み薬剤や万能細胞等を投与する注入療法が検討されている。

なお、この注入療法で使用される従来のカテーテルは、血管の閉塞を目的としていないことから、バルーンを使用しないタイプのカテーテルである。また、カテーテルは、通常、ガイドワイヤにて目的の位置まで誘導される。

しかし、上記心筋への注入治療のために、外科的に開胸し直接的に薬剤などを 心筋組織に投与する方法は、全身麻酔下で開胸し体外循環を用いて一度心臓を停 止させなければならないので、患者にとっては非常に高い侵襲がある。 また、経皮的に心腔内にカテーテルをアプローチしカテーテル越しに心筋に針を打ち込んで薬剤等を投与する注入療法では、拍動する心臓内部に対し、堅く太いガイディングカテーテルを固定させる必要があることから、心腔内の腱索を傷っけて術後の後遺症を招いてしまうおそれがある。

5 このように、今までの技術を駆使した心筋組織に対する注入治療は不完全なものであり、従来から虚血部の血流回復による、心筋梗塞症に対する根本的で、より有効な治療手段が求められていた。しかしながら、心筋梗塞を引き起こす虚血部の改善だけでなく、体内の治療を要する体腔周辺の患部に直接かつ局所的に必要な薬剤などを供給させる手段がないというのが現状である。

10 本発明は、上記のような点に着目したもので、新たな治療方法を発明し、その 発明した治療方法に好適なカテーテル及び注入療法用装置を提供することを課題 とするものである。

#### 発明の開示

25

15 本発明者らは、ガイディングカテーテル等の手段を用いて、患部以外の部位を 侵襲することなく目的の箇所に効果的に薬剤を経管的に到達させる手段及び方法 について鋭意検討した結果、ガイディングカテーテル内に挿入し体内の目的部位 に到達させることができる細径のカテーテルで、しかも、本来の血流を遮断する ことなく限られた局所部位に遮断領域(閉塞領域)を作り、そこから逆行性に治 20 療に必要な薬剤等を当該局所部位だけに注入することが出来るバルーンカテーテ ルが、上記新たな治療方法の課題を解決するのに好適であることを見出し、本発 明をなすに至ったものである。

そして、上記課題を解決するために、本発明は、少なくとも本管血流は温存し、 かつ2つのバルーンの間に血流本管から遮断された閉塞領域を作り、その閉塞領域に対し、薬剤・細胞・治療器具等の治療方法に応じたものを供給するためのカテーテル及び注入療法用装置を提供するものである。

すなわち、本発明のうち請求の範囲第1項に記載した発明は、バルーンカテー テルと、バルーンカテーテルのガイド用ルーメンに挿入されるガイドワイヤと、 心臓の脈動を検出する脈動検出手段と、脈動検出手段の検出信号に基づき上記ガ



イドワイヤを心臓の脈動に同期させてストロークさせるストローク手段とを備え、 上記バルーンカテーテルは、1本のカテーテル本体内に軸方向に沿って延びる 複数のルーメンが形成されると共に、そのカテーテル本体に対し外径方向に拡張 可能な2つのバルーンが軸方向に並んで配設された、血管内挿入用のバルーンカ テーテルであって、

上記複数のルーメンは、

5

上記2つのバルーンの間でカテーテル本体の外部に連通する注入口が開口し当該注入口を介してカテーテル本体の外部に薬剤・細胞・治療器具等を供給可能な 注入用ルーメンと、

10 上記2つのバルーン内部にそれぞれ連通して当該バルーンの拡張を制御するためのバルーン用ルーメンと、

カテーテル本体先端部に対し上記2つのバルーン群の位置よりも遠位及び近位 の位置でそれぞれカテーテル本体外部に連通して、2つのバルーンで形成される 閉塞空間をバイパスして血液の流通を可能とするバイパス用ルーメンと、

15 カテーテル本体を目的位置まで誘導するガイドワイヤーが挿入されるガイド用 ルーメンと、を備え、

上記ガイド用ルーメンが、上記2つのバルーン群の位置よりも遠位及び近位の 位置でそれぞれカテーテル本体外部に連通することで上記バイパス用ルーメンも 兼ねることを特徴とする注入療法用装置を提供するものである。

20 本発明によれば、2つのバルーンを拡張することで、当該2つのバルーン間に よって血管内に独立した閉塞空間が形成され、その閉塞空間という局所部分に対 してのみ、注入口から薬剤などが供給可能となる。したがって、当該閉塞空間に 分枝血管が接続していれば、上記薬剤などが分枝血管に注入され、当該分枝血管 を通じて患部まで薬剤などを供給することが可能となる。勿論、閉塞空間を構成 25 する血管壁面部分が患部であれば、その局所的な患部に対してのみ必要とする薬 剤などの供給が可能となる。

なお、注入用ルーメンを負圧として、注入口から供給した薬剤等、閉塞空間内 にある物質を、注入口から吸引・除去することも可能である。

また、バルーンで血管を閉塞しても、バイパス用ルーメンを通じて血液の流通

が確保されるので、保存療法などのために、上記バルーンで血管を所定時間、閉 塞しても、当該血管内の血液の流通が確保可能となる。

また、独立したバイパス用ルーメンが不要となるので、その分、カテーテル本 体内のルーメン数を減らすことが可能となり、その分上記バイパス用ルーメンの 開口断面積を広くすることが可能となる。

5

25

また、ガイドワイヤを心臓の脈動に同期させてストロークさせることによるバイパス用ルーメン内のポンピング作用で、バイパス用ルーメンによる血液循環の効率が向上する。

ここで、様々な因子、薬剤、細胞等を注入することによって、失われた心筋や 10 血管などの細胞を再構成することができれば、根本的な意味での病態の改善が図 ることができる。そして、本発明の適用が好適な治療方法である、冠状静脈経由 でいわば血流の逆行性に虚血部位等へ様々な因子や薬剤及び細胞を注入し臓器に 実質的に治療を施すという臓器へのアプローチの概念は、従来知られてはいない。

次に、請求の範囲第2項に記載した発明は、請求の範囲第1項に記載した構成 15 に対し、上記2つのバルーン内部に一つのバルーン用ルーメンが連通していることを特徴とするものである。

本発明によれば、2つのバルーンを拡張するためのルーメンが一つで済むので、 その分、カテーテル本体内のルーメン数を減らすことが可能となり、その分上記 バイパス用ルーメンの開口断面積を広くすることが可能となる。

20 次に、請求の範囲第4項に記載した発明は、請求の範囲第1項又は請求の範囲 第2項のいずれかに記載した構成に対し、冠状静脈に挿入されるカテーテルであ ることを特徴とするものである。

本発明によれば、冠状静脈経由でいわば血流の逆行性に虚血部位等の患部に対し様々な因子や薬剤及び細胞を注入し臓器に実質的に治療を施すという、従来知られていない臓器へのアプローチが可能となる。

すなわち、2つのバルーンで形成した閉塞空間に接続する分枝血管を介して目 的とする心筋組織に対してのみ万能細胞や薬剤を投与することが可能となる。こ の場合には、直接的に対象とする心筋組織までカテーテルを挿入する必要はない。

日本国 行 26. 3. 2004

#### 請 求 の 範 囲

1. (補正後) バルーンカテーテルと、バルーンカテーテルのガイド用ルーメンに挿入されるガイドワイヤと、心臓の脈動を検出する脈動検出手段と、脈動検出手段の検出信号に基づき上記ガイドワイヤを心臓の脈動に同期させてストロークさせるストローク手段とを備え、

上記バルーンカテーテルは、1本のカテーテル本体内に軸方向に沿って延びる 複数のルーメンが形成されると共に、そのカテーテル本体に対し外径方向に拡張 可能な2つのバルーンが軸方向に並んで配設された、血管内挿入用のバルーンカ テーテルであって、

10 上記複数のルーメンは、

5

上記2つのバルーンの間でカテーテル本体の外部に連通する注入口が開口し当 該注入口を介してカテーテル本体の外部に薬剤・細胞・治療器具等を供給可能な 注入用ルーメンと、

上記2つのバルーン内部にそれぞれ連通して当該バルーンの拡張を制御するた 15 めのバルーン用ルーメンと、

カテーテル本体先端部に対し上記2つのバルーン群の位置よりも遠位及び近位 の位置でそれぞれカテーテル本体外部に連通して、2つのバルーンで形成される 閉塞空間をバイパスして血液の流通を可能とするバイパス用ルーメンと、

カテーテル本体を目的位置まで誘導するガイドワイヤーが挿入されるガイド用 20 ルーメンと、を備え、

上記ガイド用ルーメンが、上記2つのバルーン群の位置よりも遠位及び近位の位置でそれぞれカテーテル本体外部に連通することで上記バイパス用ルーメンも兼ねることを特徴とする注入療法用装置。

- 2.(補正後) 請求の範囲第1項において、
- 25 上記2つのバルーン内部に一つのバルーン用ルーメンが連通していることを特 徴とする注入療法用装置。
  - 3. (削除)

5. (削除)